

主催： 岩手セメントコンクリート研究会
日本コンクリート技術株式会社

コンクリート技術大会in盛岡

～東日本大震災の
復旧・復興に貢献するコンクリート技術～

2015年10月27日（火）～10月28日（水）
アイーナ（岩手県民情報交流センター）

作成：スタッフ一同
原案：渡邊弘子（月の泉技術士事務所）

ようこそ盛岡へ



駅前から見る岩手山



大会告知ポスター



会 期：平成 27 年 10 月 27 日（火）～10 月 28 日（水）

会 場：アイーナ 岩手県民情報センター

岩手県盛岡市盛岡駅西通 1 丁目 7 番 1 号

TEL.019-606-1717 FAX.019-606-1716

ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING

岩手県盛岡市盛岡駅北通 1 丁目 2 番 27 号

TEL.019-625-1211 FAX.019-625-1210

主 催：岩手セメントコンクリート研究会

日本コンクリート技術株式会社

協 賛：（公社）プレストレストコンクリート工学会

（公社）日本コンクリート工学会東北支部

（公社）日本コンクリート工学会関東支部

（公社）日本コンクリート工学会四国支部

（一社）セメント協会、（一社）東北コンクリート

製品協会、（一社）新潟県コンクリートメンテナ

ンス研究会、（一社）日本構造物診断技術協

会、元気な生コンネットワーク、コンクリート用

化学混和剤協会、新世代PCa工業会

新潟CEG研究会、日本コンクリート製品フォ

ーラム、ふくしまインフラ長寿寿命研究会

（株）公共事業通信社、（株）セメント新聞社

参加申込：日本コンクリート技術（株）担当：河野、村田

〒130-0026 東京都墨田区両国 4-38-1

TEL 03-5669-6651 FAX 03-3632-2970

URL <http://www.jc-tech.co.jp>

※本大会はJCM認定のCPDS学習プログラムです。

大会プログラム

10月27日（火）	9:30～12:00	基調講演会 開会挨拶/長瀬重義(大会委員長) 「東日本大震災からの教訓と南海トラフ地震への備え」 阪田憲次(岡山大学名誉教授・元土木学会長) 「東北地方における公共事業を巡る最近の話題」 川瀬弘之(国土交通省 東北地方整備局長) 「東日本大震災からの岩手県の復興の状況」 森 勝彦(復興庁 岩手復興局次長)
	12:00～13:30	昼 食 / 休 憩
	13:30～16:00	パネルディスカッション 「震災の復興への貢献『コンクリート製品と生コンクリート』の歩みと今後の展開」 コーディネーター：篠田佳男(日本コンクリート技術) [第1部] 震災復興への貢献 舟橋政司(前田建設工業)、内藤英晴(五洋建設)、新田裕之(東栄コンクリート工業) [第2部] コンクリートの展開 大月隆行(ランデス)、小嶺啓蔵(ヤマウ)、廣藤義和(東伸コーポレーション)、 宮本充也(長岡生コンクリート)
	16:00～17:00	休 憩
	17:00～18:00	特別講演会 「もう一つの“坂の上の雲”」 藤井茂(新渡戸基金 常務理事)
	18:30～20:30	グランド・レセプション(懇親会) (ホテルメトロポリタン盛岡 NEW WING 4F)
10月28日（水）	9:10～12:00	技術講演会 講演Ⅰ：復興材料、復旧・復興関連 講演Ⅱ：耐久性、維持・管理他 講演Ⅲ：急速施工、コンクリート材料他
	12:00～12:15	閉会セレモニー

材料、機械、工法に関する最新技術や情報の活用

パネ
ル展
示

会場の「アイーナ」

(岩手県民情報交流センター)



受付の様子



講演および論文CD-ROM

第5回コンクリート技術大会(盛岡)



東日本大震災の復興に貢献する
コンクリート技術

- 基調講演会
- 技術講演会
- パネルディスカッション



会場：アイーナ 岩手県民情報センター
期間：平成 27 年 10 月 27 日～10 月 28 日
主催：岩手セメントコンクリート研究会、日本コンクリート技術株式会社

第5回コンクリート技術大会（盛岡）

～東日本大震災の復旧・復興に貢献するコンクリート技術～
基調講演・技術講演会資料集



基調講演（3題）・技術講演（30編）
パネルディスカッション（7テーマ）

主催：岩手セメント・コンクリート研究会
日本コンクリート技術株式会社

期間：平成 27 年 10 月 27 日～ 28 日

※ 無断転載・転用を禁じます。



大会スケジュール

日時 \ 場所		7F アイーナ ホール	8F 803	8F 804(A)	8F 804(B)	8F 812	ホテル メトロポリタン盛岡 NEW WING
10/27 (火)	9:30～12:00	基調講演				パネル 展示	
	12:00～13:30	昼食・休憩					
	13:30～16:00	パネルディス カッション					
	16:00～17:00	休憩					
	17:00～18:00	特別講演会					
	18:30～20:30						懇親会
10/28 (水)	9:10～12:00		講演Ⅰ 【復興材料/ 復旧・復興】	講演Ⅱ 【耐久性/ 維持管理 他】	講演Ⅲ 【急速施工/ コンクリート 材料 他】	パネル 展示	
	12:00					閉会式	
	12:00～13:00					パネル 展示	



アイーナホール

第5回
コンクリート技術大会(盛岡)

7階 アイーナホール

平成27年 10月27日(火)

1. 基調講演 9:30~12:00
2. パネルディスカッション
13:30~16:00
3. 特別講演会
17:00~18:00

主催 岩手セメント・コンクリート研究会
日本コンクリート技術株式会社



開会宣言



主催者：篠田 佳男 氏
(日本コンクリート技術株式会社 代表取締役社長)



開会挨拶



大会委員長：長瀧 重義 先生
(東京工業大学 名誉教授)



司 会



渡邊 弘子 氏
(月の泉技術士事務所 代表)



参加者の様子



基調講演 1

阪田 憲次 先生

(岡山大学名誉教授，元土木学会会長)

「東日本大震災からの教訓と
南海トラフ地震への備え」

東日本大震災からの教訓



想定外

災害は次に起こる災害に
よって凌駕される



減災

設計におけるフェイルセーフ化
被災しても人命が失われない
ことを最重視する。

「東日本大震災からの教訓と南海トラフ地震への備え」

岡山大学名誉教授・元土木学会長

阪田 憲次 氏

基調講演 2

鈴木 研司 氏

(国土交通省 東北地方整備局 企画部長)

「東北地方における 公共事業を巡る最近の話題」

復興道路・復興支援道路

(H27.10.1時点)

- 復興道路・復興支援道路の開通延長は約223km、うち震災後に63kmが開通。
- 平成27年度末までに、新たに26.3kmの開通を予定。
- また、三陸沿岸道路 仙台市～石巻市間(52.6km)の4車線化も概ね完成予定。



【H27 開通予定】
吉浜道路
((仮)三陸IC～(仮)吉浜IC) (3.6km)



復興道路・復興支援道路の概要(H27. 4. 1現在)

	全体延長	開通延長	うち 震災後開通	事業中延長	うち 震災後新規
三陸沿岸道路	約 359km	152km	23km	207km	148km
宮古盛岡横断道路	約 100km	8km	7km	58km	48km
東北横断道釜石秋田線 (釜石～花巻)	約 80km	54km	24km	26km	17km
東北中央道 (相馬～福島)	約 45km	0km	0km	45km	23km
計	約 584km	214km	54km	336km	236km
宮城県北高速幹線道路	約 30km	9km	9km	11km	11km
合 計	約 614km	223km	63km	347km	247km

「東北地方における公共事業を巡る最近の話題」

国土交通省 東北地方整備局 企画部長 鈴木 研司 氏

基調講演 3

森 勝彦 氏

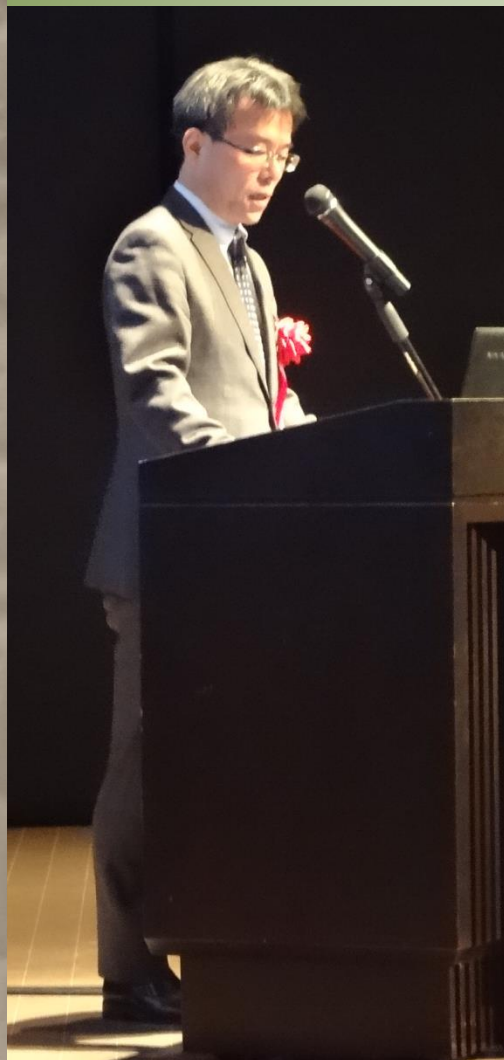
(復興庁 岩手復興局 次長)

「東日本大震災からの
岩手県の復興の状況」

「東日本大震災からの岩手県の復興の状況」

復興庁 岩手復興局次長

森勝彦氏



(2) 各種支援の状況①



◆工場施設、商店等の復旧支援 (グループ補助金)

H27年9月1日現在

	グループ 数	補助金交付 企業数	補助金総額 (国1/2+県1/4)
岩手県	113	1,303	807億円
全 体	619	10,653	4,668億円

◆仮設施設の整備支援

H27年9月末現在

	建設中 箇所数	完 成 箇所数
岩手県	0	351
全 体	1	578

○大槌町のショッピングセンター



(復旧前)



(復旧後)

○福幸きらり商店街(大槌町)



昼食・休憩

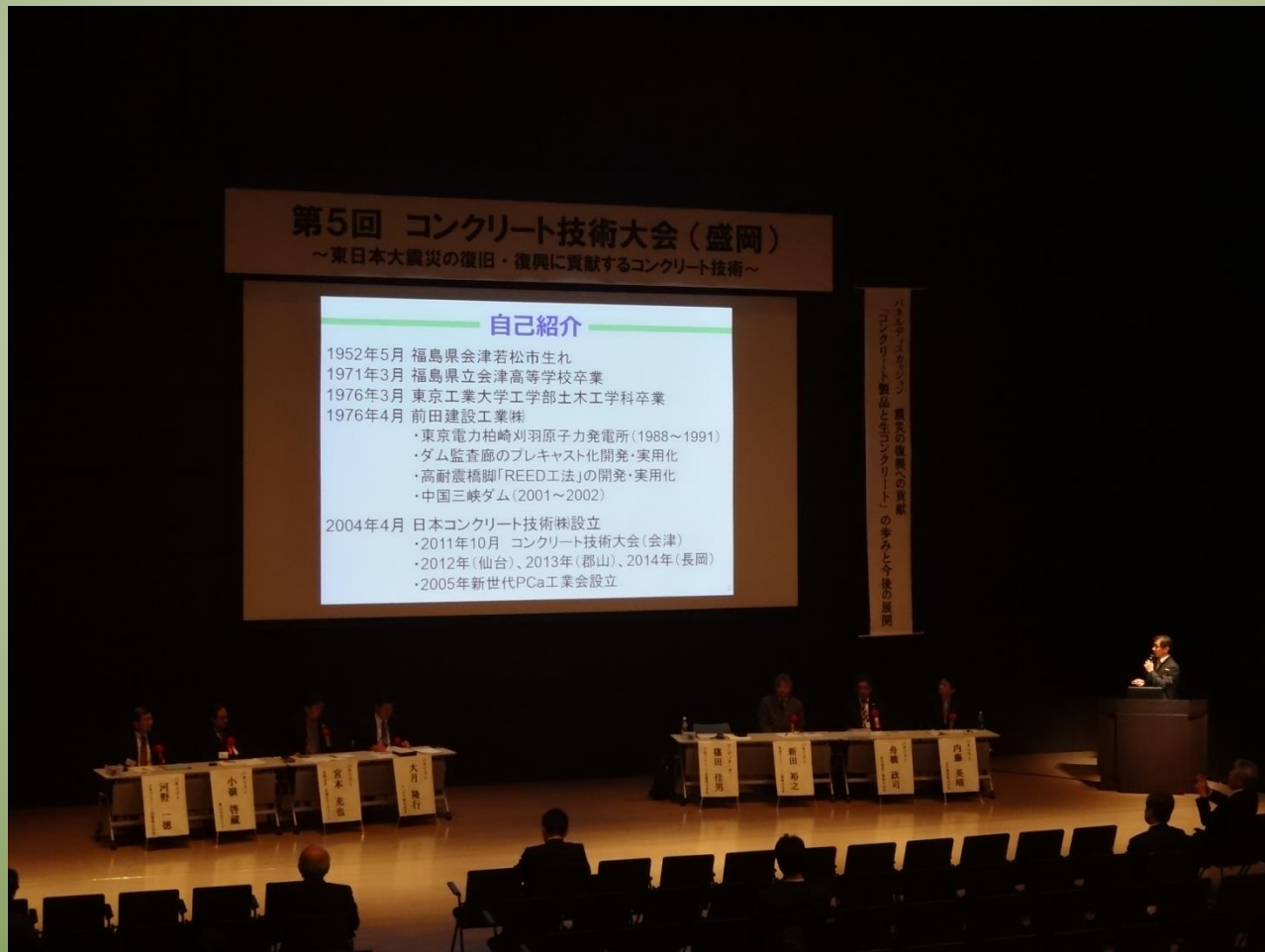
盛岡三大麺



パネルディスカッション

震災の復興への貢献

「コンクリート製品と生コンクリート」の歩みと今後の展開



コーディネータ：篠田社長

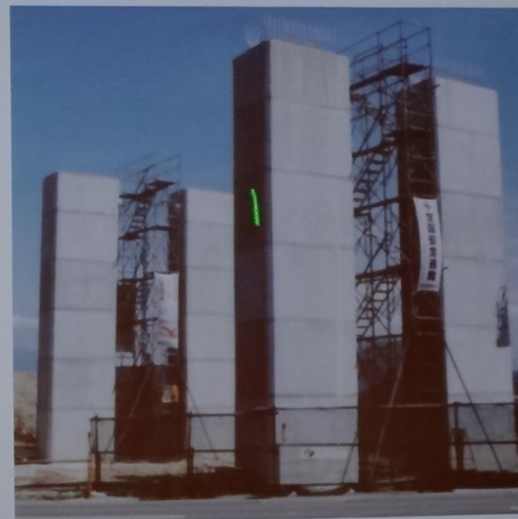


橋脚の合理化施工「REED工法」

1995年に北海道縦貫自動車道大岸橋へ採用



函体建込状況



脚柱の完成



パネルディスカッション第1部

コンクリートを通した東日本大震災の復旧・復興への貢献



パネリストによる話題提供

新田 裕之 氏（東栄コンクリート工業株式会社 代表取締役社長）

「東日本大震災による被災状況」

まとめ

1. 生コン不足によるプレキャスト製品の活用
2. 現場作業員不足によるプレキャスト製品の活用
3. 急速施工のためのプレキャスト製品の活用
4. 応急対策のためのプレキャスト製品の活用
5. 様々な製品が採用されたが不具合発生も見受けられる
今後、不具合の検証および対策の検討が必要である⁸



パネリストによる話題提供

舟橋 政司 氏（前田建設工業株式会社 技術研究所 副所長）

「東日本大震災で被災した土木構造物の
復旧・復興におけるゼネコンの役割」



海岸堤防復旧工事における
ゼネコンの役割：

★早期に頑丈な堤防を提供する

- ・ 盛立材料(CSG材料)の自給
- ・ 適切な品質管理・施工管理による構造物の要求性能を確保
- ・ 使用材料、施工状況、竣工検査結果、等の記録をきちんと残し、
発注者に引き継ぐ



パネリストによる話題提供

内藤 英晴 氏（五洋建設株式会社 技術研究所 専門部長）

「東日本大震災で被災した港湾構造物の
復旧・復興とコンクリート工事」

防波堤復旧工事でのコンクリート施工



フェリーバージによる沖合い
での現場打ち



パネルディスカッション第2部

わが国が抱える社会的課題を踏まえ、
「コンクリート製品と生コンクリート」を通じた
将来のコンクリート技術



パネリストによる話題提供

大月 隆行 氏（ランデス株式会社 代表取締役社長）

「自然共生技術と持続可能な
社会基盤構築への取り組み」

コンクリート製品の必要性と課題

－H8年 土木工事プレハブ化技術等普及検討委員会資料より－

＜必要性＞

1. 施工の省力化・省人化
2. 品質の向上
3. 工期の短縮
4. 積算業務の簡素化
5. 建設業のイメージアップ
6. 作業工数が少なく単純化
7. トータルコストが安くなる
8. 工事の平準化が図れる
9. 省熟練・省人化

＜現状の問題点＞

1. コストが高い
2. 使用量に比して種類が多い
3. 明確な基準が無い
4. 積算体系が確立されていない
5. 二次製品の品質に不安
6. 二次製品と現場打ちの合体構造に不安

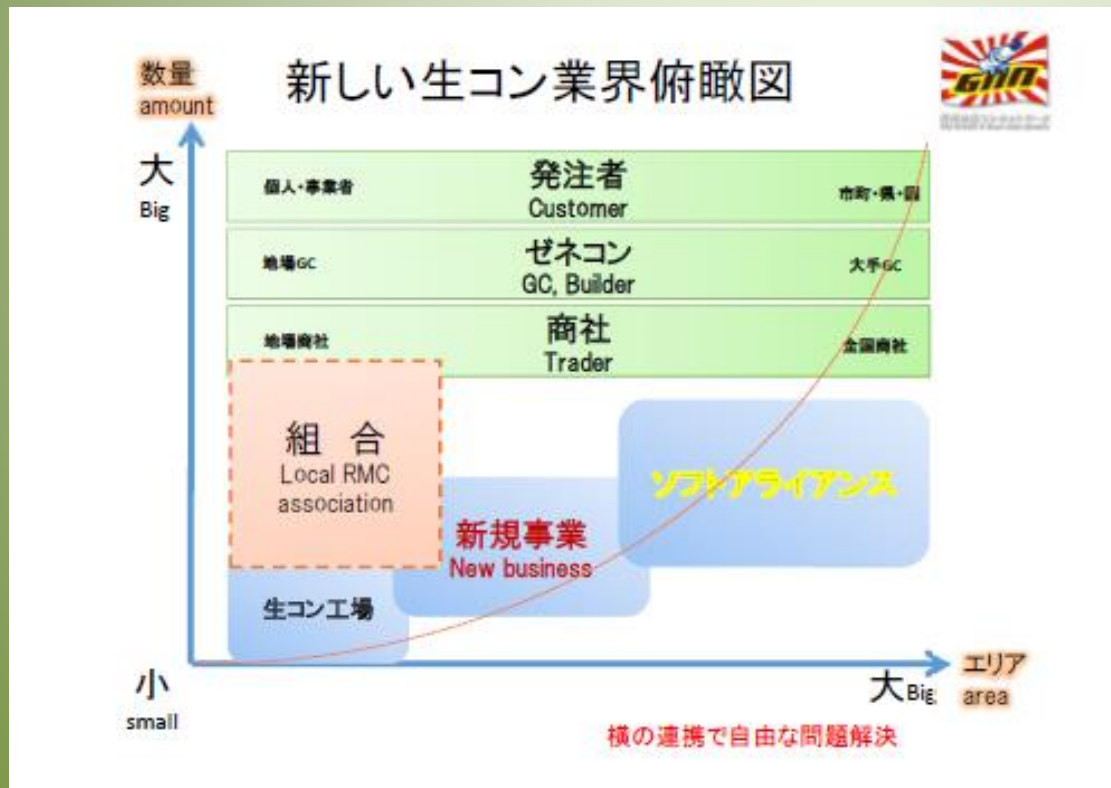


パネリストによる話題提供

宮本 充也 氏（有限会社 長岡生コンクリート 専務取締役）

「コンクリートの将来について

生コンのあるべき姿と技術開発テーマ，具体的取組」



パネリストによる話題提供

小嶺 啓蔵 氏（株式会社ヤマウ 専務取締役）

「PCa大型製品と生コンクリートの
コラボレーション
～ハーフプレキャスト工法～」

ハーフプレキャストの特徴

1. 現場打ちコンクリートを併用することでコスト低減ができる
2. 型枠や支保工を省略できる部分を現場打ちすることで熟練工を削減できる
3. プレキャスト部材間の接合にループ継手などを使用することで容易に一体化ができる
4. セグメント間の連続性についても現場打ちコンクリート部で強固に一体化が出来る



パネリストによる話題提供

河野 一徳 氏（日本コンクリート技術株式会社 技術部長）

「PCa大型製品と生コンクリートの
コラボレーションの将来像
～生産性と品質の向上を目指して～」

「コラボレーション」について考える

持ちつ持たれつの関係（従来のイメージ）



今後は、技術力を持つ／技術力向上に前向きな
者同士のコラボレーションに移行
（ゼネコンのホンは技術も強者と組みたい）



新たな関係構築の上で今がラストチャンス！



パネルディスカッション：質疑応答

久田先生
(東北大)



長尾氏
(東日本測量)

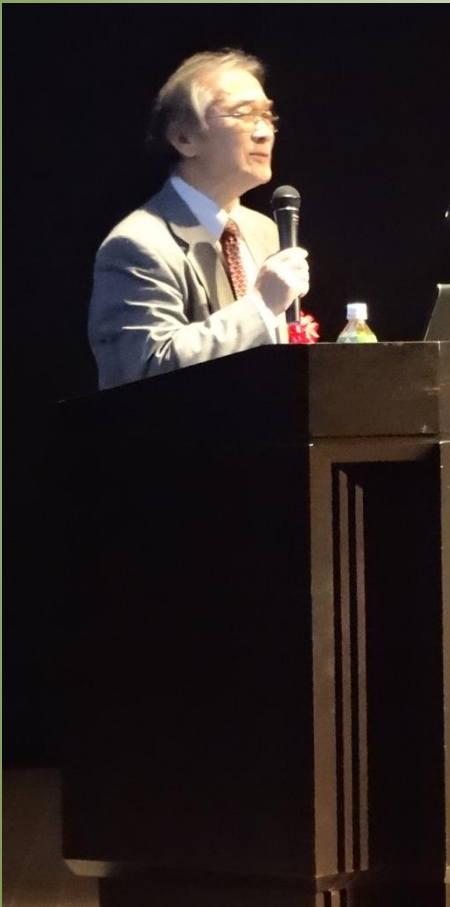


回答するパネリストら



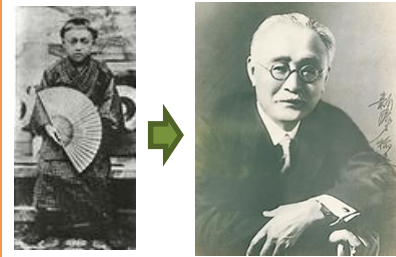
特別講演

藤井 茂 氏（一般財団法人 新渡戸基金 常務理事兼事務局長）

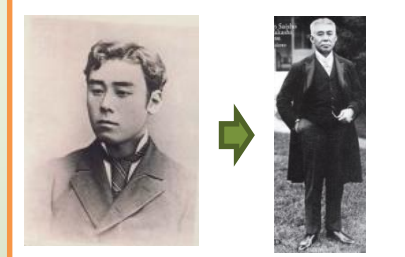


「もう一つの“坂の上の雲”
～奇しくも明治4年，明治5年に
岩手から上京した6少年たちの志し～」

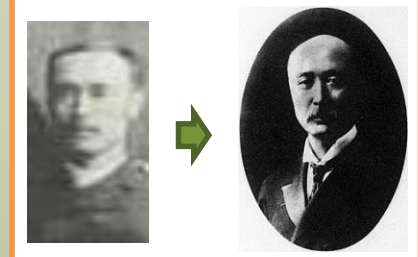
新渡戸稲造



原 敬



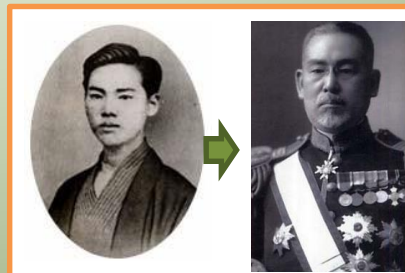
佐藤昌介



田中館愛橘



後藤新平



斎藤 真



懇親会場へ移動



懇親会場：
ホテル
メトロポリタン盛岡
NEW WING

盛岡駅と満月



懇親会

盛岡芸妓さんによるおもてなし

第5回 コンクリート技術大会（盛岡）懇親会

主催 岩手セメントコンクリート研究会 日本コンクリート技術株式会社



懇親会

乾杯

長瀧先生（東工大）



司会
小山田先生
（岩手大）

開会挨拶

羽原先生（岩手大）

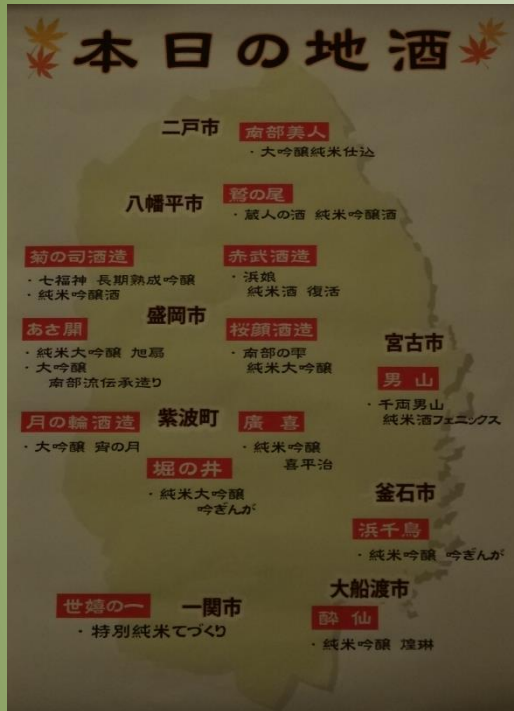


懇親会

会場の様子（乾杯）



懇親会



地酒・地ビールによるおもてなし



懇親会：8名による中締め

「長瀧先生と篠田社長の東工大土木同級生のみなさま」



懇親会

会場の様子（中締め）



翌朝のNHKニュース



「おはよういわて」で放映



翌朝のNHKニュース

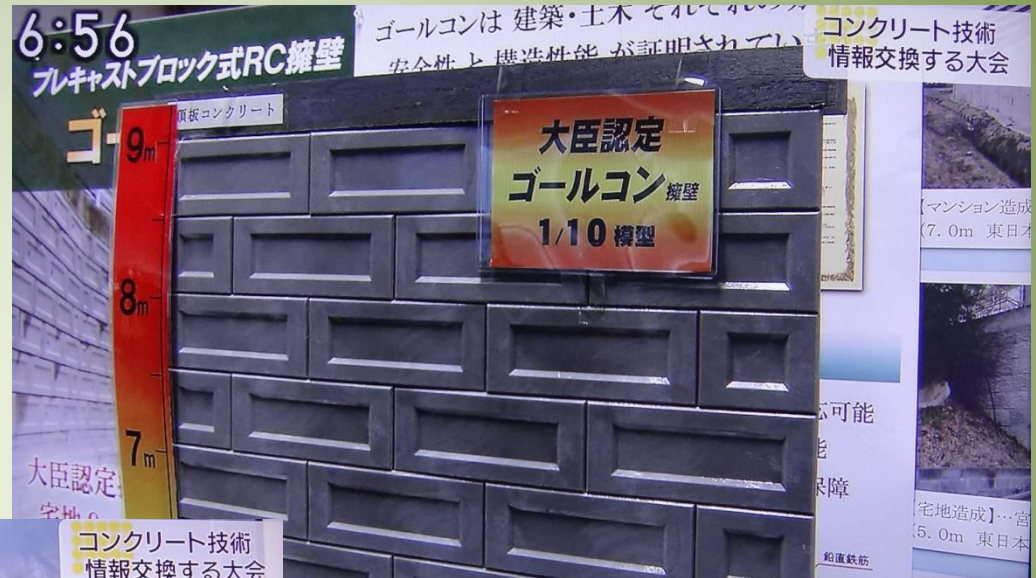


「被災しても人命が失われないことが大切」



翌朝のNHKニュース

パネル展示された
技術を紹介



翌朝のNHKニュース



「震災の復旧・復興にコンクリート技術が大きく貢献」



論文発表

No	時間	講演Ⅰ【 会議室803号 】	講演Ⅱ【 会議室804(A)号 】	講演Ⅲ【 会議室804(B)号 】
		復興材料、復旧・復興関連 座長:栗田守朗(清水建設)・末岡英二(東洋建設)	耐久性・維持・管理他 座長:丸屋剛(大成建設)・羽瀬貴士(東亜建設工業)	急速施工、コンクリート材料他 座長:竹田宣典(大林組)・内藤英晴(五洋建設)
1	9:10 ～ 9:25	製鋼スラグ骨材を用いた重量コンクリートの製造実証研究	○上村竜介(新日鐵住金) 光石尚道(フローリック) 久田真(東北大学) 高野良広(新日鐵住金)	○片野啓三郎(大林組) 竹田宣典(大林組)
2	9:25 ～ 9:40	長流動距離を確保可能な水中不分離性コンクリートの開発	○澤田純之(安藤ハザマ) 村上祐治(安藤ハザマ) 堤知明(東京電力) 齋藤尚(住友大阪セメント) 長瀬重義(東京工業大学名誉教授)	○犬飼一登(北沢建設) 宮下寛(長野県) 北沢資雄(北沢建設) 篠田佳男(日本コンクリート技術)
3	9:40 ～ 9:55	多種類のリサイクル材を用いたPCaコンクリート製品の品質	○北辻政文(宮城大学) 金子修(前田製管) 鈴木清美(前田道路) 新田裕之(東栄コンクリート工業) 阿部善信(アベゼン) 遠藤孝夫(東北学院大学)	○小沢雅樹(北沢建設) 竹内剣(長野県) 篠田佳男(日本コンクリート技術) 河野一徳(日本コンクリート技術)
4	9:55 ～ 10:10	ゼオライト混入コンクリートのフレッシュ性状および硬化性状に関する検討	○酒井貴洋(五洋建設) 内藤英晴(五洋建設) 保木本智史(五洋建設) 石田積(電気化学工業) 大下英吉(中央大学)	○幸田圭司(清水建設) 宮本慎太郎(東北大学) 皆川浩(東北大学) 久田真(東北大学)
5	10:10 ～ 10:25	高炉スラグ細骨材によるコンクリートの凍結融解抵抗性改善に関する研究	○Paweena JARIYATHITIPONG(ランデス) 森雅聡(岡山大学) 藤井隆史(岡山大学) 横野克紀(岡山大学)	○宮里心一(金沢工業大学) 武市祥司(金沢工業大学)
休 憩 10:25～10:45				
6	10:45 ～ 11:00	気仙川災害復旧水門工事とコンクリートの品質向上対策	○内田雅博(安藤ハザマ) 神尾昌男(安藤ハザマ) 白岩誠史(安藤ハザマ)	○岩井雅紀(金沢工業大学) 宮里心一(金沢工業大学) 宮口克一(電気化学工業) 盛岡美(電気化学工業)
7	11:00 ～ 11:15	大地震対応のプレキャストブロック式RC擁壁	○新田裕之(東栄コンクリート工業) 大城保一(ゴールコン) 内山忠明(ゴールコン) 川口将雄(ゴールコン) 小浦哲義(東栄コンクリート工業)	○鶴岡秀樹(東亜建設工業) 小村正司(東亜建設工業) 網野貴彦(東亜建設工業) 佐々木武(国土交通省)
8	11:15 ～ 11:30	プレキャスト鉄筋コンクリートと鋼管杭基礎を一体化させた粘り強い直立式防潮堤工法	○黒澤辰昭(新日鐵住金) 中谷郁夫(ジオスター) 関口修史(横河住金ブリッジ) 井上浩充(共和コンクリート工業) 福丸茂樹(技研製作所) 乙志和孝(新日鐵住金)	○立石和也(東京工業大学) 篠田佳男(日本コンクリート技術) 大嶋義隆(フジミコンサルタント) 松本浩嗣(東京大学生産技術研究所) 二羽淳一郎(東京工業大学)
9	11:30 ～ 11:45	スケーリング抵抗性を考慮したトンネル覆工コンクリートに関する研究	○高橋慧(岩手大学) 小山田哲也(岩手大学) 羽原俊祐(岩手大学) 中村大樹(岩手大学)	○堀口賢一(大成建設) 府川徹(大成建設) 坂本淳(大成建設) 丸屋剛(大成建設)
10	11:45 ～ 12:00	海水・海砂を用いた自己充填型コンクリートへのフライアッシュ適用の効果	○末岡英二(東洋建設) 竹中寛(東洋建設) 酒井貴洋(五洋建設) 田中亮一(東亜建設) 山路徹(港湾空港技術研究所) 清宮理(早稲田大学)	○高岡満(KSK) 山下英俊(KSK) 松山公年(日本工営)

論文発表Ⅰ

【復興材料，復旧・復興関連】

座長



栗田氏
(清水建設)



末岡氏
(東洋建設)



論文発表Ⅱ

【耐久性，維持・管理他】

座長



羽渕氏 丸屋氏
(東亜建設工業) (大成建設)



論文発表Ⅲ

【急速施工，コンクリート材料他】

座長



内藤氏
(五洋建設)

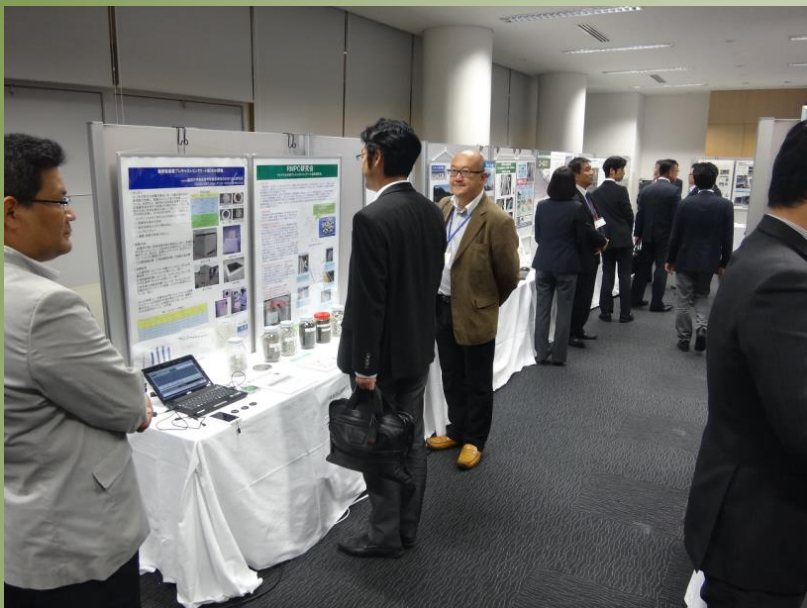
竹田氏
(大林組)



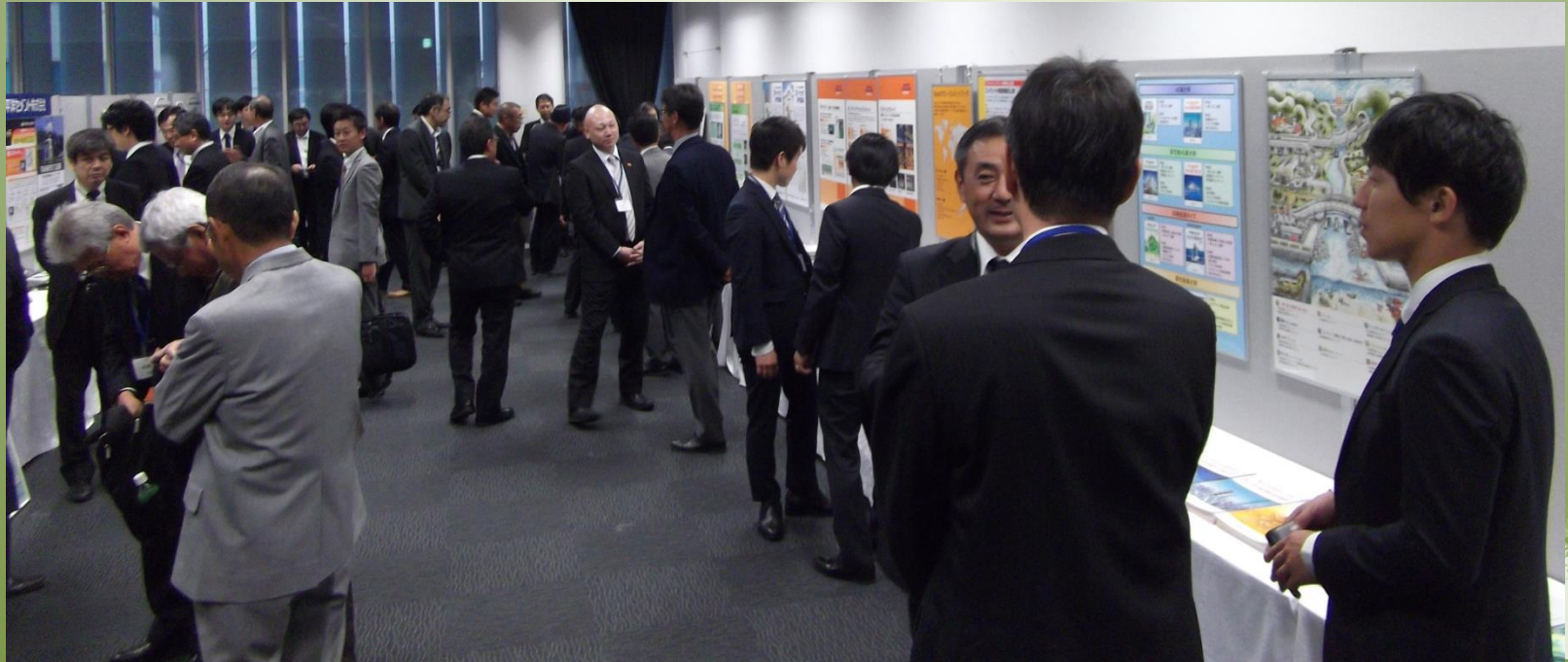
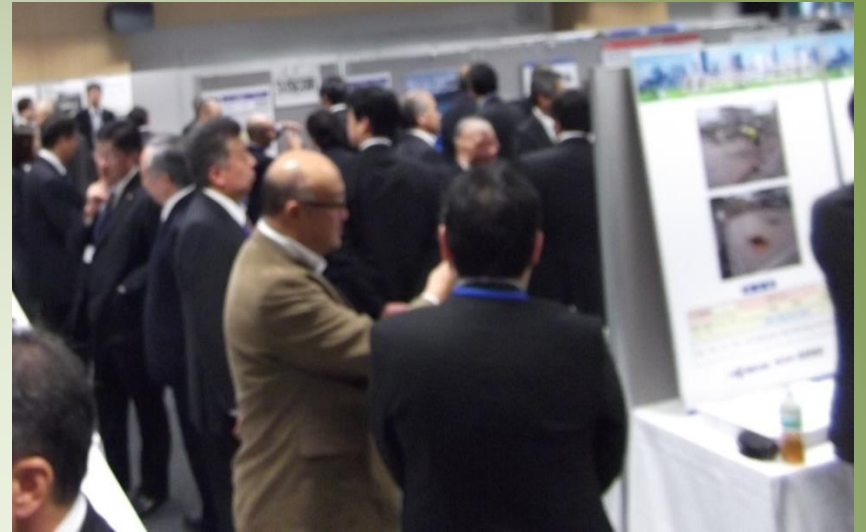
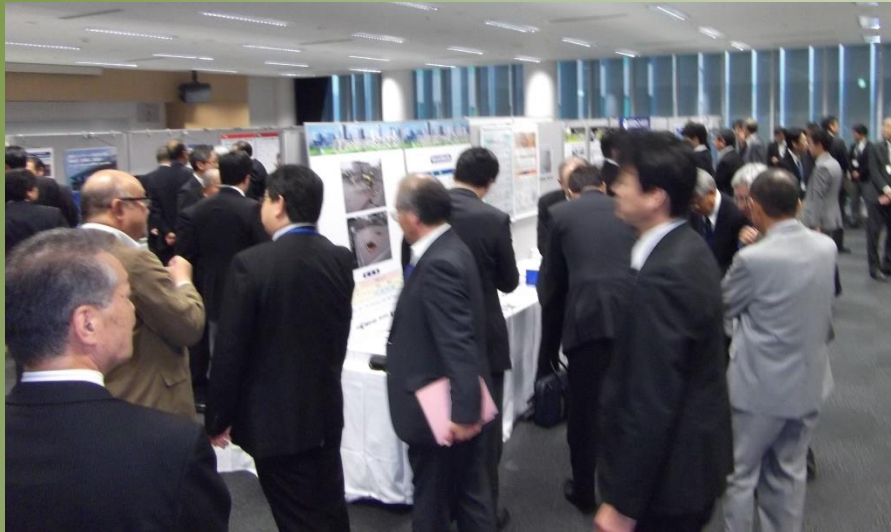
The floor plan shows the layout of the 1988 Tokyo Olympics Main Venue. The seating capacities for each section are as follows:

Section	Seating Capacity
32	19,800
33	18,900
34	17,100
35	16,110
36	15,120
37	14,130
38	13,140
39	12,150
40	11,160
41	10,170
42	9,180
43	8,190
44	7,200

パネル展示会場



パネル展示会場



パネル展示（キャッチコピー）

1	花王(株)	インフラの補修・補強・長寿命化を支える花王の界面科学技術	23	(株)東京測器研究所	コンクリート構造物の施工管理と維持管理を支える、ひずみゲージ、ひずみゲージ式変換器、測定器、ソフトウェアを提供します。
2	竹本油脂(株)	Try and Build Next Technology！ —技術と共に歩む— コンクリート用化学混和剤に関する紹介	24	(株)八洋コンサルタント	コンクリート構造物の表面品質評価による耐久性診断技術の展開
3	日本シーカ(株)	サステナブルな社会に貢献するシーカの混和剤	25	愛知製鋼(株)	コンクリート構造物の高耐久化に貢献するステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」
4	BASFジャパン(株)	BASFは創立150年！ BASFの化学技術による復旧復興に貢献するソリューションの紹介	26	(株)フォーラムエイト	世界的にも最高水準の解析精度でひび割れ、破壊までを解析。耐震設計・診断に有効なRC構造の動的非線形解析プログラム群の紹介
5	(株)フローリック	高機能化する種々のニーズに対応した二次製品用混和剤「フローリックVP900シリーズ」の紹介	27	(株)計算力学研究センター	3次元温度応力解析プログラム「ASTEAMACS」 形状パラメータを入力するだけで面倒なメッシュを自動作成
6	グレースケミカルズ(株)	流動化剤 増粘剤—液タイプ「ADVA-PLUS」ならびにポリプロピレン微細繊維「Grace Microfiber」を使用したコンクリート技術の紹介	28	前田工織(株)	しなやかな繊維がコンクリートを鍛えます。コンクリート表面の物質移動抵抗性が增大。構造体は補修・補強で耐力が向上…
7	デンカ(株)	コンクリートに挑戦するデンカの新技术	29	アクアカーテン普及会	表層コンクリートに“本来の性能を”。アクアカーテンが、型枠取外し後のコンクリート面の給水養生を可能にします。
8	宇部三菱セメント(株)	「かたさ」から「しなやかさ」へコンクリート技術を支える宇部三菱セメント	30	JFEエンジニアリング(株)	国土技術開発賞優秀賞受賞 現地作業のミニマム化により“超”急速施工を可能としたプレキャストタイプのハイブリッド防潮堤
9	住友大阪セメント(株)	カートリッジ容器を用いた無機系セメント注入式あと施工アンカー「セメフォースアンカー」環境性・耐熱性・施工性に優れます	31	(株)NIPPO	低騒音型床版増厚工法「スマートオーバーレイ工法」、および高耐久エポキシ接着剤「スマートボンド」
10	太平洋セメント(株)	「太平洋セメントのインフラ強靱化技術」RFID 構造物診断技術「WIMOシリーズ」iコンスベーサによる構造物情報管理 その他	32	(株)安藤・間	震災復旧・復興と、リサイクル資材の地産地消を目指した石炭灰混合資材「アッシュクリート TypeS」
11	(株)太平洋コンサルタント	「コンクリート分析・解析・試験のエキスパート」セメント・コンクリートのことは弊社にお任せ下さい。	33	東急建設(株)	東急建設のあつ！とおどろく RC構造物の補修・補強技術をご紹介します。「TST-FISH 工法」「トールドレン」を出展します。
12	山宗化学(株)	～品質へのこだわりを通して信頼と満足を得る～ 現場のあらゆる要望に応える山宗化学のコンクリート用化学混和剤をご紹介します。	34	東洋建設(株)	充填と締固めを施工時に判定できるシステム「ジューテンダー」と、橋梁桁下の低空頭耐震補強が可能な仮締切「ラクテック工法」
13	(株)SUN企画・(株)星野産商	流動性の改善に寄与する高密度・高耐久のスラグ骨材「ウィンドスターズ」	35	前田建設工業(株)	「CIMを活用した設計・施工・維持管理」 前田建設のCIMへの取組みを紹介します。
14	東北発電工業(株)	コンクリート用「フライアッシュ」は、ASR、凍害、塩害の強い味方！ パドック用「クリンカアッシュ」は、牛も喜ぶ快適空間♪	36	三井住友建設(株)	三井住友建設のコンクリート関連技術 —パタフライウェブ橋の実績とバリエーション—
15	日本製紙(株)	扱い易いコンクリート用混和材高品質フライアッシュ「GfFA」でコンクリートの品質向上に貢献します。	37	元気な生ネットワーク	私たちは、元気でパワー溢れる生コン業界を目指し、生コン業界に新たな風を吹かせます！
16	アストン協会	私たちはコンクリートの長寿命化へ挑戦するグループです。 「コンクリート改質剤 CS-21」	38	前田製管(株)	工期短縮に最適、分割式大型ボックスカルバート「SSボックス」の施工事例をご紹介します。
17	早川ゴム(株)	止水性能と誘発性能を持った誘発目地材と放射線環境においても耐久性に優れたゴム材料をご提案します。	39	MLウォール研究会	安心安全な宅地造成に、大規模地震動に対応した国土交通大臣認定L型擁壁「MLウォールⅣ型」をお薦めします。
18	住友電工スチールワイヤー(株)	構造用コンクリートの高性能化と省力化施工に寄与する「高機能PC鋼材」「ECF高強度ストランド」・「極細鋼繊維」	40	ハレーサルト工業会/ロードプラス研究会	ハレーサルト工業会：耐塩害、耐凍害性等を向上した高炉スラグコンクリート ロードプラス研究会：山間部等の道路幅幅が容易にできるPCa製品
19	DIC(株)	コンクリートに係わるニーズに、当社のポリマー技術が解決致します。 特殊用途に優れた一品、「DICのコンクリート用製品」はいかがでしょうか。	41	全国ゴールコン協会	大地震対応・プレキャストブロック式RC擁壁「ゴールコン」。 最高9m宅造法大臣認定。最高10m土木技術審査証明。
20	日本アイ・ティー・エス(株)	現場で手軽に500kNの圧縮試験が可能になりました。 可搬型コンクリート圧縮試験機A-Mシリーズ	42	(株)東北ヤマックス	5つのプレキャスト部材とコンクリート底版を組み合わせ剛結合とした大型アーチカルバート「Max Arch」
21	(株)CIテクノ	コンクリートの技術コンサル、調査診断、クレーム対応および補修工事、ISO9001、14001、17025、JIS 認証取得支援で業界に貢献	43	共和コンクリート工業(株)	直立堤の工期短縮に対応したプレキャストコンクリートブロック
22	(株)KSK	非破壊検査器、コンクリート構造物診断機、NETIS 登録商品、情報化施工の計測機器のレンタル	44	RMPC研究会	再生粗骨材Mをプレキャストコンクリートに限定利用すれば、寒冷地でも利用可能

閉会式

丸山先生
(長岡技科大)
による挨拶



皆さんまた来てね



紅葉の盛岡城趾



これからもがんばろう!土木技術者!

中津川（北上川の支流）の鮭の遡上



想像と違って
かなり「ゆったり」だったけど

イメージ映像



こんな感じの「ジャンプ!」とか
「ぞろぞろ」とかを想像してました

